歴史上の人物から、何を学ぶか

歴史に名を残した人物の伝記や自伝、研究書、代表的な著作、作品解説書を特集します。
あなたの知らなかった世界について、知の領域を広げてみませんか？

【　図書は請求番号順に配置　】

	書名 / 著者 （上段）　内容紹介 （下段）	請求番号
ちくま新書	**ニーチェ入門 / 竹田青嗣著** 筑摩書房 , 1994.9 二十世紀思想最大の震源地、ニーチェの核心と、その可能性を大胆に提示する、危険なほどに刺激的な入門書。	081-C44-8
	ウィトゲンシュタイン入門 / 永井均著 筑摩書房 , 1995.1 写像理論から文法理論、言語ゲーム理論へと展開する独特の思想の核心にわけ入り、読者とともに考える入門書。	081-C44-20
	カント入門 / 石川文康著 筑摩書房 , 1995.5 哲学史上不朽の遺産である『純粋理性批判』を中心に、その哲学の核心を読み解き、現代に甦る新たなカント像を描く。	081-C44-29
	ケインズ：時代と経済学 / 吉川洋著 筑摩書房 , 1995.6 世界経済の動きとリアルタイムで対峙した巨人の生涯を振り返りながら、主著『一般理論』とその他の著作について解説する。	081-C44-35
	漱石を読みなおす / 小森陽一著 筑摩書房 , 1995.6 ミステリアスな作家の生涯と文学を新たにたどりなおし、その魅力を鮮やかにくみあげた再入門書。また漱石が面白くなる。	081-C44-37
	空海入門：弘仁のモダニスト / 竹内信夫著 筑摩書房 , 1997.5 空海を導き、つき動かすものは、純粋無垢な菩提心だった。複合的な磁場のなかで、日本文化の設計者となった天才の生涯。	081-C44-107
	親鸞入門 / 佐藤正英著 筑摩書房 , 1998.10 波乱の生涯を背景に、一人の念仏者として自らを問いつづけた独自の思想の核心を読み解き、新たな親鸞の全体像に迫る。	081-C44-176
	レヴィ=ストロース入門 / 小田亮著 筑摩書房 , 2000.10 代表作『親族の基本構造』『野生の思考』『神話論理』から、未開社会の親族構造や神話研究から汲みあげた思考を読み解く。	081-C44-265
	丸山真男：ある時代の肖像 / 水谷三公著 筑摩書房 , 2004.8 講和問題や朝鮮戦争、ベトナム反戦や憲法九条、天皇問題などに現われる軌跡をたどり、戦後日本の夢と悔恨をふりかえる。	081-C44-484
	デカルト入門 / 小林道夫著 筑摩書房 , 2006.4 なぜ、近代哲学の父と呼ばれるのか。認識論から自然学・宇宙論に及ぶデカルトの思想を、現代的視座からも読みなおす。	081-C44-589
	ミシェル・フーコー：近代を裏から読む / 重田園江著 筑摩書房 , 2011.9 社会の隅々まで浸透した権力の成り立ちを問い、常識的な見方に根底から揺さぶりをかけるフーコー。その思想の魅力とは。	081-C44-922
	感情とは何か：プラトンからアーレントまで / 清水真木著 筑摩書房 , 2014.6 プラトンからアーレントにいたる歴史を辿り、西洋では理性の敵として語られることが多かった感情に対し、新しい視点を提供。	081-C44-1076
	空海の思想 / 竹内信夫著 筑摩書房 , 2014.7 空海が遺した言葉に向き合うことによって、中世的「弘法大師」信仰を解体し、空海の言葉に込められた「いのちの思想」に迫る。	081-C44-1081
	秦の始皇帝 / 吉川忠夫著 講談社 , 2002.2 初めて中国統一をなしとげ「始皇帝」を名乗った男。兵馬俑に守られた広大な陵墓に葬られた稀代の英雄の生涯と真実。	081-Ko19-1532
哲学	**人間の条件 / ハンナ・アレント著；志水速雄訳** 筑摩書房 , 1994.10 「人間の条件」の最も基本的要素となる活動力は、《労働》《仕事》《活動》の三側面から考察することができる。アレントの主著。	114-A68n
	ガリレオ：望遠鏡が発見した宇宙 / 伊藤和行著 中央公論新社 , 2013.10 1609年、望遠鏡を空に向けて天体観測を始めたガリレオは、宇宙論に革命をもたらした。宇宙を再発見した彼の道のりをたどる。	C-132.57-Yi
	エラスムス：人文主義の王者 / 沓掛良彦著 岩波書店 , 2014.5 『痴愚神礼讃』をはじめ膨大な作品を遺し、古典学者や平和主義者など様々な姿をもった巨人の全貌に迫る、初めての概説書。	132.66-Yke
	イギリスのモラリストたち / 柘植尚則著 研究社 , 2009.8 「人間の本性」「感情と理性」「幸福と理想」をめぐる、近代イギリスのモラリストたちの議論を紹介する入門書。	133.1-Ts39i
	怠惰への讃歌 / バートランド・ラッセル著；堀秀彦, 柿村峻訳 平凡社 , 2009.8 働くこと自体は徳ではない。働かない時間を、価値ある生の時間を得るためにこそ、人は働く。深く胸に落ちる十五篇のエッセイ。	133.54-R.h
	論理哲学論考 / ヴィトゲンシュタイン著；丘沢静也訳 光文社 , 2014.1 語ることができないことについては沈黙するしかない。私の言語の限界は、私の世界の限界を意味する。20世紀哲学の金字塔。	133.542-R.o
	ウィトゲンシュタイン：没後60年、ほんとうに哲学するために 河出書房新社 , 2011.6 20世紀の鬼才・ウィトゲンシュタインの魅力と多分野への拡がりに迫る。エッセイ、論考、著作解題、日本における受容史など。	133.542-Ywe

哲学 心理学 倫理学 宗教

永遠平和のために/啓蒙とは何か：他3編 / カント著；中山元訳 光文社，2006.9 134.21-E.n
「啓蒙とは何か」で説くのは、その困難と重要性で、「永遠平和のために」では常備軍の廃止、国家の連合と、平和論を展開する。

ヘーゲル入門：最も偉大な哲学に学ぶ 河出書房新社，2010.1 134.4-Yhy
ヘーゲルは現代にこそ甦る。8つのレクチャーでわかるヘーゲルの魅力と可能性のすべて。

ヘーゲルとその時代 / 権左武志著 岩波書店，2013.11 S-134.4-Yg
ヘーゲルは激動の時代とどのように格闘し、自らの哲学を作り上げたのか。今日に至る影響力について考えるヘーゲル入門。

はじめてのヘーゲル『精神現象学』：超解読! / 竹田青嗣, 西研著 講談社，2010.5 134.4-S.Ytc
近代社会に生きる人間の欲望の本質は何か。ヨーロッパ哲学史上、最も重要にして最も難解なヘーゲルの主著を読み砕く。

世界精神マルクス：1818-1883 / ジャック・アタリ［著］；的場昭弘訳 藤原書店，2014.7 134.64-Yac
グローバリゼーションとその問題性を予見していたのは、マルクスだけだった。今こそ、マルクスを冷静に語ることが可能になった。

マルクスは生きている / 不破哲三著 平凡社，2009.5 134.64-Yfc
知の巨人を、唯物論の思想家、資本主義の病理学者、未来社会の開拓者の三つの側面から考察し、彼が予見したことを探る。

ニーチェはこう考えた / 石川輝吉著 筑摩書房，2010.11 134.922-Yi
熱くてグサリとくる言葉の人、ニーチェ。まじめで弱くて、斜に構えた青年が、挫折しても再び立ち上がることができるのはなぜか？

ニーチェ：ツァラトゥストラの謎 / 村井則夫著 中央公論新社，2008.3 C-134.922-Z.Ym
「神の死」を宣告、「ニヒリズムの到来」を予言したニーチェ。奇書『ツァラトゥストラはこう語った』を読み解き、その思想に迫る。

神学・政治論 / スピノザ著；吉田量彦訳 光文社，2014.5 135.2-Sb-1,2
“危険な”思想家スピノザの神髄。思想・言論・表現の自由をどう守り抜くか？『エチカ』と並ぶスピノザの主著、70年ぶりの新訳。

スピノザ『神学政治論』を読む / 上野修著 筑摩書房，2014.6 135.2-Syu
聖書の信仰と理性の自由は両立しうるのだろうか。この難問を考察した著作は、キリスト教会から罵られ禁書にされてしまう。

スピノザ入門 / ピエール=フランソワ・モロー著；松田克進, 樋口善郎訳 白水社，2008.8 Q-135.2-Ymb
十七世紀の哲学者スピノザがいかに生き、何を書き、どのように受けとめられてきたかを解説。実物大の人物像にせまる評伝。

ジャン=ジャック・ルソーの政治哲学：一般意志・人民主権・共和国 / ブリュノ・ベルナルディ著；三浦信孝編；永見文雄［ほか］訳・解説 勁草書房，2014.2 135.48-Ybb
個人と集団の解放を構想したルソーは、文明化への不信、合理主義批判、代表制の拒否という意味で啓蒙の異端者であった。

フーコー / リディア・アリックス・フィリンガム著；栗原仁, 慎改康之編訳 筑摩書房，2011.5 135.9-F42Yfd
狂気・監獄・性など、多岐にわたるテーマを精査しながら、20世紀を代表する思想家、フーコーが追求したものは何だったのか。

ポール・リクール / ジャン・グロンダン著；杉村靖彦訳 白水社，2014.7 Q-135.9-R36Yg
各時期の哲学思想を読み解き、整理した博覧強記な哲学者。その思索には、現代哲学の主要な流れが全て織り込まれている。

人はなぜ戦争をするのか：エロスとタナトス / フロイト著；中山元訳 光文社，2008.2 145.9-F46h
人間には戦争せざるをえない攻撃衝動があるのではないかというアインシュタインの問いに答えた表題の書簡ほか4篇を収録。

フロイト伝 / カトリーヌ・クレマン著；吉田加南子訳 青土社，2007.10 145.9-F46Yc
医学や心理学のみならず、文化をぬりかえた精神分析の父フロイト。フランスを代表する女性伝記作家が、生涯と理論を語る。

自分の中に毒を持て：あなたは“常識人間”を捨てられるか / 岡本太郎著 青春出版社，2002.2 159-O422j
「集団に馴染むために個性を殺すな。1人ひとりが本気で考え、自分の思いを爆発させなければ、世界はつまらなくなる」

ほんとうの親鸞 / 島田裕巳著 講談社，2012.3 188.7-Sh69Yso
「親鸞像がいかに形成されてきたか、そこに関わる人々の『夢の結晶』であることを明らかにする」（*はじめに*より）

イエス・キリストは実在したのか? / レザー・アスラン著；白須英子訳 文藝春秋，2014.7 192.8-A92i
イエスとは実際にはどのような人物だったのか？イエスは何を説いていたのか？どのように世界宗教へと飛躍していったのか？

歴史

アレクサンドロス大王：今に生きつづける「偉大なる王」 / 澤田典子著 山川出版社，2013.4 209-Se22ec-5
現代においても圧倒的存在感を放つアレクサンドロスの疾風怒涛の生涯を追い、神話と伝説に包まれた彼の実像を探っていく。

フェルメールの帽子：作品から読み解くグローバル化の夜明け / ティモシー・ブルック［著］；本野英一訳 岩波書店，2014.5 209.5-B76v
ヨーロッパの小氷河期、アジア航路探索、米大陸での銀採掘、チャイナ・ブーム。まだ見たことのない、フェルメールの新世界。

伊能忠敬：日本をはじめて測った愚直の人 / 星埜由尚著 山川出版社，2010.4 210.08-N71m-57
中高年の星、ウォーキングの元祖、史上最大の旅行家。効率優先の世相への警鐘として伊能忠敬に学ぶところは大きい。

吉田茂と昭和史 / 井上寿一 講談社，2009.6 210.7-I571y
吉田茂を知ることなく、今の日本を語ることはできない。平和憲法、サンフランシスコ講和、日米安保など、戦後の日本を描く。

歴史　伝記　個人の伝記（日本人）

ペリクレスの世紀 / ジャン=ジャック・マッフル著；幸田礼雅訳 白水社，2014.8　Q-231.3-Ma28p
紀元前五世紀のギリシア、アテネの最盛期を築き上げた政治家ペリクレス。雄弁家として知られるその人と時代。

アイヒマン調書：イスラエル警察尋問録音記録 / ヨッヘン・フォン・ラング編；小俣和一郎訳 岩波書店，2009.3　234.074-E37
ナチスによるユダヤ人殺戮の重要人物、親衛隊中佐アイヒマン。イスラエル警察による尋問で浮かび上がる、彼の人間像とは。

フィレンツェ史 / マキァヴェッリ著；齊藤寛海訳 岩波書店，2012.3-2012.4　B-237-Ma16f-1
貴族、市民、平民の抗争を描き、法王制がイタリアの政治統一をいかに阻害したかを鋭く指摘。市民による国家統一を強調。

インディアスの破壊についての簡潔な報告 / ラス・カサス著；染田秀藤訳 岩波書店，2013.8　B-255-C25i2
スペイン人征服者たちによる搾取とインディオ殺戮が日常化している植民地の実態を暴露し、告発した書。

蘇東坡 / 竺沙雅章著 人物往来社，1967.7　282.2-C62b-6
唐宋八大家蘇軾。「一人の政治家として、蘇東坡の生涯をたどってみたい」（*はじめに*より）

暗い時代の人々 / ハンナ・アレント著；阿部齊訳 筑摩書房，2005.9　283-A68k-C
レッシング、ローザ・ルクセンブルク、ヤスパース、ブロッホ、ベンヤミン、ブレヒト…暗い時代に自らの意志で行動した10人を描く。

昭和天皇 / 原武史著 岩波書店，2008.1　S-288.41-Sh97h
新嘗祭、神武天皇祭など宮中祭祀に熱心に出席し、神への祈りを重ねた昭和天皇。天皇は一体、何を拝み続けたのか。

マリー・アントワネット：ファッションで世界を変えた女 / 石井美樹子著 河出書房新社，2014.6　288.4935-Ma51Yi
美貌に知恵と理性を兼ね備え、ファッションの力で世界を虜にした女。「わがままで浪費家」のイメージを覆す、新たな像を描く。

エカチェリーナ大帝：ある女の肖像 / ロバート・K・マッシー著；北代美和子訳 白水社，2014.8　288.4938-C26Ym-1,2
ドイツからロシア宮廷に嫁ぎ、才知と意志、鋭い政治感覚で長年君臨した、一人の女の波瀾の生涯。受賞多数の傑作評伝。

不敵のジャーナリスト筑紫哲也の流儀と思想 / 佐高信著 集英社，2014.7　289.1-C441s
ぶれない軸を持って巨大な権力や組織と闘った実像を、未刊行の自筆メモや知人、家族の証言など多様な角度から描き出す。

素顔の伊達政宗：「筆まめ」戦国大名の生き様 / 佐藤憲一著 洋泉社，2012.2　289.1-D445s
戦国武将として著名な伊達正宗の人物像を、いわゆる伝記としてではなく、豊富な手紙や遺品など別の面から明らかにした。

平塚らいてう：孫が語る素顔 / 奥村直史著 平凡社，2011.8　289.1-H68o
女性解放、反戦平和の闘士として活躍した彼女には、もう一つの顔があった。自分の脆さに苦悩し、闘った実物大の姿を描く。

平塚らいてう：近代日本のデモクラシーとジェンダー / 米田佐代子著 吉川弘文館，2002.2　289.1-H68y
女性解放の先達として評価される平塚らいてう。この稀有な女性の生活と思想のあゆみをとらえなおし、全体像を探った一冊。

本田宗一郎：やってみもせんで、何がわかる / 伊丹敬之著 ミネルヴァ書房，2010.9　289.1-H847id
ホンダという世界屈指の組織を作り上げた宗一郎は、今もなお求められる経営者像を体現している。夢を追い続けた男の人生。

細川ガラシャ：散りぬべき時知りてこそ / 田端泰子著 ミネルヴァ書房，2010.2　289.1-H943t
「キリシタンとしてのガラシャに到達するまでのガラシャ（本名明智玉子）の生涯を丹念に追う」（はじめにより）

市川房枝というひと：100人の回想 /「市川房枝というひと」刊行会編 新宿書房，1982.9　289.1-I14b
第一部は市川房枝研究の論文集、第二部はありし日の市川房枝を語る随筆集となっている。

児玉誉士夫巨魁の昭和史 / 有馬哲夫著 文藝春秋，2013.2　289.1-Ko181a
戦前は右翼の大立者として、戦後は55年体制下のフィクサーとして暗躍した児玉。その生涯をCIA内部文書をもとに描く。

楠木正成 / 新井孝重著 吉川弘文館，2011.10　289.1-Ku93a
民間武装民の戦力を基礎に、巨大権力鎌倉幕府と戦った楠木正成とは一体何者なのであろうか。その意外なルーツをさぐる。

間宮林蔵・探検家一代：海峡発見と北方民族 / 高橋大輔著 中央公論新社，2008.11　289.1-Ma421t
「間宮海峡」を発見した人、くらいにしか学校の授業では触れられない間宮林蔵。前人未踏の極寒の地を探検した足跡をたどる。

幸之助論：「経営の神様」松下幸之助の物語 / ジョン・P・コッター著；高橋啓訳 ダイヤモンド社，2008.4　289.1-Ma884k
「素直な心」が道をひらく。公人、私人、心の世界という3つの視点で幸之助をとらえた、経営学分野における有用な分析的伝記。

南方熊楠の見た夢：パサージュに立つ者 / 唐澤太輔著 勉誠出版，2014.4　289.1-Mi36kf
生と死、自己と他者、現実と夢、妄想と事実、正常と異常。日常の中の二項対立を越え、熊楠が考え続けたものは何だったのか。

宮本常一：逸脱の民俗学者 / 岩田重則著 河出書房新社，2013.8　289.1-Mi778i
通り一遍の民俗学者から逸脱し、徹底した資料分析とフィールド調査をもとに、研究を重ねた宮本の生涯の軌跡を追う。

新島八重：媚びず動ぜず凛として：創立者新島襄を援けた同志社の母 / 林洋海著 上毛新聞社事業局出版部，2012.12　289.1-N722hb
会津藩の終焉は武家社会の終焉でもあった、そしてこの武家社会の終焉が女性の社会進出をもたらした。

個人の伝記（日本人）	**渡戸稲造の精神：いま世界と日本を憂う / 佐藤全弘著** 教文館，2008.6 平和を求め、国際人として著名な新渡戸稲造が今生きていたら、世界に対し、日本に対し、何を言うであろうか。	289.1-N88sg
	野口英世 / 中山茂著 岩波書店，1995.10 野口英世の伝記は子どもの時に多くの人が目にするが、この書はいわば大人向き・学問的な評伝である。	289.1-N933nb
	緒方竹虎とCIA：アメリカ公文書が語る保守政治家の実像 / 吉田則昭著 平凡社，2012.5 機密解除された米公文書から、1955年の自民党結成に、CIAが緒方を通じて対日工作を行っていた実態が明らかになった。	289.1-O23y
	大平正芳：理念と外交 / 服部龍二著 岩波書店，2014.4 「大平の理念と外交を系統的に跡づけることで、戦後日本政治を問い直す」（*カバー*より）	289.1-O29h
	大杉栄伝：永遠のアナキズム / 栗原康著 夜光社，2013.12 暗い時代に咲いた生の軌跡。米騒動、ストライキ、民衆芸術論…。破天荒な生き方と、思想に光をあてた評伝。	289.1-O79k
	西郷隆盛と明治維新 / 坂野潤治著 講談社，2013.4 幕末期に議会制を構想し、封建制の打破に尽力し、江華島事件を卑劣と非難した、幕末維新の巨人の実像に迫る一冊。	289.1-Sa18bb
	塙保己一とともに：ヘレン・ケラーと塙保己一 / 堺正一［著］ はる書房，2005.9 塙保己一は江戸時代に盲目でありながら活躍した学者です。視力の弱い人にも読みやすいよう、大きな活字で書かれています。	289.1-Sa28s
	龍馬史 = Ryoma-Shi / 磯田道史著 文藝春秋，2010.9 坂本龍馬の暗殺にはさまざまな説が出ているが、どれも定説には至っていない。新事実と緻密な推理で「龍馬史」を読み解く。	289.1-Sa32ib
	埼玉の先人渋沢栄一 / 韮塚一三郎,金子吉衛著 さきたま出版会，1983.12 渋沢栄一が近代日本に果たした歴史的役割について論じた書籍は多いが、郷土埼玉に対する業績を著した貴重な資料。	289.1-Sh21n
	白瀬矗：日本南極探検隊長 / 井上正鉄著 成山堂書店，2012.3 11歳の時、近所の塾の先生に世界の広さを教わった白瀬。以来様々な努力をし、48歳になった白瀬は前人未踏の南極に挑む。	289.1-Sh85i
	田中正造とその周辺 / 赤上剛著 随想舎，2014.4 正造はずっと忘れ去られ、とんでもない人災事故が起きるとよみがえる…。その正造の生涯をたどり考えてみる。	289.1-Ta847a
	忘れられた哲学者：土田杏村と文化への問い / 清水真木著 中央公論新社，2013.6 大正から昭和初期にかけて活発に著作活動を展開したにもかかわらず、人々の記憶から消えたのはなぜなのか。	C-289.1-Ts26s
	津田梅子：ひとりの名教師の軌跡 / 亀田帛子著 双文社出版，2005.3 日本の女子教育の先駆けともいえる津田梅子の生涯に焦点をあて、梅子自身の生の姿を再現した1冊。	289.1-Ts34k
	田中角栄：戦後日本の悲しき自画像 / 早野透著 中央公論新社，2012.10 新潟三区という地盤に利益誘導を行い、「日本列島改造」を掲げた角栄は、戦後政治の象徴だった。番記者が語る真実。	C-289.1-Ta84h
	梅棹忠夫：「知の探検家」の思想と生涯 / 山本紀夫著 中央公論新社，2012.11 探検家、民族学者、知的生産の技術を広めた教育者として、未知の問題を全力で追求した梅棹忠夫。彼の思想と生涯を描く。	C-289.1-U738y
伝記 東洋人	**毛沢東：ある人生 / フィリップ・ショート著；山形浩生, 守岡桜訳** 白水社，2010.7 成長と変化をたどり、共産党創立、長征、思想の変遷を、世界情勢の中に位置づけて描く。偏見や扇情を排し実像に迫る。	289.2-Mo11sc-1,2
	パル判事：インド・ナショナリズムと東京裁判 / 中里成章著 岩波書店，2011.2 東京裁判でA級戦犯被告全員の無実を説いたインド代表判事パル（1886-1967）。その意図をめぐり、現在も論争が続く。	S-289.2-P17n
	周恩来・最後の十年：ある主治医の回想録 / 張佐良著；早坂義征訳 日本経済新聞社，1999.10 「大宰相」の名を持つ周恩来。政敵・毛沢東の傍らにいて抜群のバランス感覚で生き延びた政治家の素顔。	289.2-Sh996c
	素顔の孫文：国父になった大ぼら吹き / 横山宏章著 岩波書店，2014.4 失敗続きの革命にめげず人々を結集させ、彼が目指した民主・憲政構想とは何だったのか。素顔を通し活写する型破りな評伝。	289.2-So41y
伝記 西洋人	**アデナウアー：現代ドイツを創った政治家 / 板橋拓己著** 中央公論新社，2014.5 戦後、保守政党を率い、米仏などとの西側結合に邁進、ユダヤ人との和解にも挑んだ。国父と呼ばれる保守政治家の生涯。	C-289.3-A164i
	点字発明者の生涯 / ピエール・アンリ著；奥寺百合子訳 朝日新聞社，1984.9 「盲人のための世界的な文字の発明者は、彼自身盲人であった」（*はじめに*より）	289.3-B713h
	スウェーデン男女平等の起点と到達点フレドリカ・ブレーメル / 中山庸子著 ノルディック出版，2012.1 「できるだけフレドリカ・ブレーメル自身の文章を提示して、その哲学の形成と内容を紹介する」（p.3より）	289.3-B722n
	わが人生の書：ルネサンス人間の数奇な生涯 / カルダーノ著；青木靖三, 榎本恵美子訳 社会思想社，1980.7 「コンパスを水平に保たせる装置に応用された『カルダン・リング』を発表した数学者」（*訳者あとがき*より）	289.3-C16

個人の伝記（西洋人）

王妃カトリーヌ・ド・メディチ：サン・バルテルミー大虐殺の謎 / 桐生操著 新書館，1982.11 289.3-C26
「毒殺の常習者ではなく、歴史的に存在感のある一人の女性としてのカトリーヌを描く」（*あとがき*より）

誰も知らなかったココ・シャネル / ハル・ヴォーン著；赤根洋子訳 文藝春秋，2012.8 289.3-C33v
「ファッションを通じて女性の生き方を変えた女性」「積極的にナチスに協力していた事実」（*訳者あとがき*より）

青山栄次郎伝：EUの礎を築いた男 / 林信吾著 角川グループパブリッシング（発売），2009.12 289.3-C891h
日本人と欧州貴族の子に生まれ、欧州統一を提唱してヒトラーに追われた男は日本人の名を持つ快男児だった。

マリー・キュリーの挑戦：科学・ジェンダー・戦争 / 川島慶子著 トランスビュー，2010.4 289.3-C96k
結婚と死別、家族と戦争、アカデミーとの闘い、不倫事件、放射能の栄光と悲惨―、彼女が直面したのはすべて現代の問題だ。

アンネ・フランク：その15年の生涯 / 黒川万千代著 合同出版，2009.8 289.3-F441k
悲惨な運命を辿ったユダヤ人の少女というイメーが強いアンネ・フランク。実像と戦争の現実を推測ではなく事実を調査し記した。

ビクトール・フランクル絶望の果てに光がある / 諸富祥彦［著］ ベストセラーズ，2013.6 289.3-F444m
全世界で1000万人が涙した『夜と霧』の著者である心理学者・フランクルの言葉を軸とした、現代を生きるための人生指南の書。

ガガーリン：世界初の宇宙飛行士、伝説の裏側で / ジェイミー・ドーラン，ピアーズ・ビゾニー著；日暮雅通訳 河出書房新社，2013.7 289.3-G13d
初の宇宙飛行士、ガーガーリン。政治的圧力に引き裂かれ、アルコール依存症と闘い、全体主義体制に反抗した男の真実とは。

ゲバラ日記：新訳 / チェ・ゲバラ著；平岡緑訳 中央公論新社，2007.11 289.3-G91gd
キューバ革命後、ゲバラは運命の地ボリビアに向かう。政府軍に射殺されるまでのゲリラ生活の緊張感を綴る最期の記録。

チェ・ゲバラの記憶 / フィデル・カストロ著 トランスワールドジャパン，2008.5 289.3-G91cc
激烈な革命戦争を駆け抜けた2人の男は、友情と信頼と連帯の絆でかたく結ばれていた。カストロが語る、チェ・ゲバラの実像。

チェ・ゲバラ伝 / 三好徹著 原書房，2001.1 289.3-G91m2
キューバのバティスタ独裁政権をフィデル・カストロとともに打倒したゲバラの生涯。数々のインタビューを織り交ぜて描いた名著。

チェ・ゲバラ最後の真実 / レヒナルド・ウスタリス・アルセ著；服部綾乃，石川隆介訳 武田ランダムハウスジャパン，2011.7 289.3-G91u
1967年、ボリビアで著者はゲバラの死体と対面した。戦闘中に死亡したとされていたが、実は拘束後に射殺されたのであった。

悪の出世学：ヒトラー、スターリン、毛沢東 / 中川右介著 幻冬舎，2014.3 289.3-H77nd
ヒトラー、スターリン、毛沢東の権力掌握術を分析。無名で平凡だった彼らは、いかにして、政敵を葬り、すべてを制したのか。

ヒトラーとは何か：新訳 / セバスチャン・ハフナー著；瀬野文教訳 草思社，2013.1 289.3-H77hd.s
画家になりそこねたオーストリア人青年は、いかにして独裁者になったのか？独自の解釈で話題を呼んだハイネ賞受賞の名著。

ヒトラーの秘密図書館 / ティモシー・ライバック著；赤根洋子訳 文藝春秋，2010.1 289.3-H77rd
反ユダヤ主義、オカルト、ベルリン都市計画…。米議会図書館から発掘された厖大な蔵書と書き込みから、彼の発想の源を辿る。

ヒトラー演説：熱狂の真実 / 高田博行著 中央公論新社，2014.6 C-289.3-H77t
ヒトラーの何が人々を熱狂させたのか。150万語の演説データから、「語りの手法」の変遷を辿り、煽動政治家の実像に迫る。

スティーブ・ジョブズ / ウォルター・アイザックソン著；井口耕二訳 講談社，2011.10-2011.11 289.3-J561i-1,2
アップル創設の経緯から、iPhone・iPadの誕生秘話、経営の極意、そして引退まで、ジョブズ自身がすべてを明らかにした。

ヘレン・ケラー自伝：私の青春時代 / ヘレン・ケラー著；川西進訳 ぶどう社，1982.9 289.3-Ke32h
闇と沈黙の世界に暮らしていたヘレン・ケラーが、夢の実現に向けて挑戦しつづけた力づよい生涯を自ら語った本。

JFK未完の人生：1917-1963 / ロバート・ダレク著；鈴木淑美訳 松柏社，2009.6 289.3-Ke48d
様々な重い病気を抱えながらも、圧倒的な説得力と行動力でアメリカに夢と希望を体現しようと献身したケネディの生き様。

ケネディ：「神話」と実像 / 土田宏著 中央公論新社，2007.11 C-289.3-Ke48t
海軍士官、下・上院議員として活躍し、大統領に登り詰めた彼は、家族、宗教、女性、病魔といった問題に常に苛まれていた。

レヴィ=ストロース伝 / ドニ・ベルトレ著；藤野邦夫訳 講談社，2011.12 289.3-L57b
『悲しき熱帯』『構造人類学』『野生の思考』など、二十世紀の思想界に巨大な足跡を残した人類学者の軌跡と素顔に迫る。

業火の試練：エイブラハム・リンカンとアメリカ奴隷制 / エリック・フォーナー著；森本奈理訳 白水社，2013.7 289.3-L63f
政治家として、どのような思想を背景に奴隷解放に向かったのか。ピュリツァー賞、リンカン賞、バンクロフト賞受賞。

リンカーン：うつ病を糧に偉大さを鍛え上げた大統領 / ジョシュア・ウルフ・シェンク著；越智道雄訳 明石書店，2013.7 289.3-L63sh
生涯取り憑いていた深刻なうつ病に苦しんだリンカーンは、精神の健康を求める険しい道程を鍛え上げた。

マッカーサー：フィリピン統治から日本占領へ / 増田弘著 中央公論新社，2009.3 C-289.3-Ma13m
戦後日本の占領軍のトップとして、活躍したマッカーサーの全貌。フィリピン時代まで遡り、側近たちとの関係にも光をあてた。

個人の伝記（西洋人）

ネルソン・マンデラ / ジャック・ラング著；塩谷敬訳 未來社，2010.8 289.3-Ma43L
27年間の獄中生活を乗り越え、全民族融和の象徴となった反アパルトヘイト(人種隔離政策)の闘士の評伝。

ネルソン・マンデラ：私自身との対話 / ネルソン・マンデラ著；長田雅子訳 明石書店，2012.1 289.3-Ma43md
人種隔離政策撤廃の指導者マンデラが、長年の間、書き綴った思い、出来事、苦難、勝利の数々を公開し、激動の人生を語る。

マリー・アントワネット：フランス革命と対決した王妃 / 安達正勝著 中央公論新社，2014.9 C-289.3-Ma51a
悪しき王妃として断罪された彼女が、後世で高い人気を得、人々の共感を集めているのはなぜか。栄光と悲劇の生涯を描く。

〈青髭〉ジル・ド・レの生涯 / 清水正晴著 現代書館，1996.4 289.3-R123
「ジャンヌの戦友でジャンヌとおなじ異端裁判によって焚刑となったジル・ド・レ男爵について」(*あとがき*より)

フランクリン・ローズヴェルト / ドリス・カーンズ・グッドウィン著；砂村榮利子，山下淑美訳 中央公論新社，2014.8-2014.9 289.3-R67g-1
ピュリツァー賞受賞。恐慌と世界大戦を乗り切った大統領の評伝。浮気に悩む妻との愛憎、ホワイトハウスや米国民の実情を描く。

スターリン：「非道の独裁者」の実像 / 横手慎二著 中央公論新社，2014.7 C-289.3-St1y
ソ連崩壊後の新史料を基に、グルジアに生まれ、革命家として頭角を現し、指導者としてヒトラーや米国と渡りあった生涯を描く。

サッチャー私の半生 / マーガレット・サッチャー著；石塚雅彦訳 日本経済新聞社，1995.8 289.3-Th15tc-1,2
「鉄の女」はいかにして生まれたか。政治を志した少女時代から結婚、初当選、そして英国初の女性首相への軌跡。

マゼラン最初の世界一周航海：ピガフェッタ「最初の世界周航」；トランシルヴァーノ「モルッカ諸島遠征調書」 / 長南実訳 岩波書店，2011.3 B-290.9-P64s
香料確保の使命をおびて、西へ西へと航路をたどり、ついには世界一周を成し遂げたマゼラン遠征隊の記録二編。

社会主義

ウィリアム・モリスのマルクス主義：アーツ&クラフツ運動を支えた思想 / 大内秀明著 平凡社，2012.6 309.29-Mo78Yo
工芸デザイナーとして著名なウィリアム・モリスは、マルクスの正統な後継者で社会運動家でもあった。モリスが到達した思想とは。

マルクス「取扱説明書」 / ダニエル・ベンサイド文；シャルブ絵；湯川順夫［ほか］訳 柘植書房新社，2013.5 309.3-B35n
マルクスの思想をたどり、宗教と社会、エコロジー、階級(闘争)、党概念、資本主義のメカニズムなど、現代社会の問題を解く。

共産主義者宣言 / カール・マルクス著；金塚貞文訳；柄谷行人付論 平凡社，2012.7 309.3-Ma59kd
「妖怪がヨーロッパに出没する。共産主義という妖怪が」マルクス主義思想の最良の入門書を、最も分かり易い訳で読み直す。

政治 政治学

丸山眞男セレクション / 丸山眞男著；杉田敦編 平凡社，2010.4 310.4-Ma59m
政治学と日本政治理想史の分野に立ち、戦後日本の思想をリードした丸山眞男。代表的な論考を集めた最良の入門書。

社会契約論/ジュネーヴ草稿 / ルソー著；中山元訳 光文社，2008.9 311-R67s.nb
世界史を動かした歴史的著作。最強者の権利、奴隷制度、社会契約、社会体の基本的な概念、法の制定について考察。

人間不平等起源論 / ルソー著；中山元訳 光文社，2008.8 311-R76n.n
国民が自由で平等であるとはどういうことなのか、どうすれば国民が主権を維持できるのか。自分の問題として問い直す古典。

市民政府論 / ロック著；角田安正訳 光文社，2011.8 311.1-L78s
人は生まれながらにして生命・自由・財産を守る権利があり、国家の成立は、この人権を守るための人々の合意に基づく。

トクヴィルの憂鬱：フランス・ロマン主義と「世代」の誕生 / 高山裕二著 白水社，2012.1 311.2-Ta56t
トクヴィルらロマン主義世代に寄り添うことで、革命後のフランス、新しい時代を生きた若者の昂揚と煩悶を浮き彫りにする。

今こそアーレントを読み直す / 仲正昌樹著 講談社，2009.5 311.234-A68Yn
「分かりやすさ」を疑うアーレント的思考が、現代社会を救う。閉塞した時代に、全体主義を疑い、人間の本性と公共性を探る。

トクヴィル：現代へのまなざし / 富永茂樹著 岩波書店，2010.9 S-311.235-To16Yt
フランスの思想家トクヴィル(1805－59)は、デモクラシーで生じる政治と社会の変容から、人間の未来をどう考えていたのか。

ハンナ・アーレント：「戦争の世紀」を生きた政治哲学者 / 矢野久美子著 中央公論新社，2014.3 C-311.28-A68y
ユダヤ人として生まれ、全体主義と対決し、「悪の陳腐さ」を問い、公共性を求めつづけた政治哲学者の生涯を描く評伝。

なぜアーレントが重要なのか / E.ヤング=ブルーエル［著］；矢野久美子訳 みすず書房，2008.9 311.28-A68yc
主著『全体主義の起源』『人間の条件』『精神の生活』を軸に、アーレントの思想の根源をとらえ、現代世界の問題へと繋ぐ。

丸山眞男：リベラリストの肖像 / 苅部直著 岩波書店，2006.5 S-311.28-Ma59k
理性とリベラル・デモクラシーへの信念を貫いた丸山眞男。戦前から戦後への変転の中で、彼はどう生き、何を問題としたのか。

丸山眞男の時代：大学・知識人・ジャーナリズム / 竹内洋著 中央公論新社，2005.11 C-311.28-Ma59t
戦後の市民による政治参加に圧倒的な支配力を及ぼした丸山。栄光と挫折の遍歴をたどり、丸山が与えた影響を検証する。

第三身分とは何か / シィエス著；稲本洋之助［ほか］訳 岩波書店，2011.2 B-311.7-Si2d
フランス革命前夜に身分特権を批判し、歴史を動かした書。自由と平等、国民主権、代議制等、近代憲法の基本原理を理論化。

政治	**ケネディ演説集 / [ケネディ述] ; 高村暢児編** 中央公論新社 , 2014.4 東西冷戦、人種対立に揺れ動くアメリカに颯爽と登場したケネディが世界に発信し、救いと希望を与えた珠玉の言葉たち。	312.53-Ke48k2
	自由論 / ミル著 ; 斉藤悦則訳 光文社 , 2012.6 市民社会における個人の思想と言論の自由について根源的に考察し、その重要さを説いたイギリス経験論の白眉。	316.1-Mi27j.s
	言論抑圧 : 矢内原事件の構図 / 将基面貴巳著 中央公論新社 , 2014.9 1937年、矢内原忠雄は、論文「国家の理想」が引き金となり、東京帝大の職を辞した。言論や思想が弾圧された時代を描く。	C-316.1-Sh95g
	革命について / ハンナ・アレント著 ; 志水速雄訳 筑摩書房 , 1995.6 アメリカ独立革命とフランス革命を比較し、自由が姿を現わす政治体として前者を評価する。革命の最良の精神を考察する。	316.5-A68k
	ニクソンとキッシンジャー : 現実主義外交とは何か / 大嶽秀夫著 中央公論新社 , 2013.12 冷戦下の国際情勢で、ソ連との関係修復、米中国交樹立、ベトナム戦争終結などの成果を上げた二人の外交戦略に迫る。	C-319.53-O82n
法律	**ガンジーの危険な平和憲法案 / C.ダグラス・ラミス著** 集英社 , 2009.8 建国の父とまで謳われた聖人の憲法案は、今日に至るまで黙殺されたままである。一体なぜなのか？幻の憲法案を精査する。	323.25-L96g
	東京裁判フランス人判事の無罪論 / 大岡優一郎著 文藝春秋 , 2012.12 「東京裁判の最終判決に異議を唱え続けたアンリ・ベルナール。孤高の生き様を辿りながら紡ぐ東京裁判史」(カバーより)	329.67-O69t
経済学 経済思想	**経済学は人びとを幸福にできるか / 宇沢弘文著** 東洋経済新報社 , 2013.11 ノーベル経済学賞候補と言われた世界的な知の巨人・宇沢弘文氏が、温かい言葉でその思想を遺した珠玉のエッセイ集。	331-U99ke
	身の丈の経済論 : ガンディー思想とその系譜 / 石井一也著 法政大学出版局 , 2014.3 朝日14.5.18 人間と自然との豊かで自立共生的な関係を追求したガンディーの思想と実践を軸に、持続可能な社会を探る。	331.225-I75m
	入門経済思想史世俗の思想家たち / ロバート・L・ハイルブローナー著 ; 八木甫 [ほか] 訳 筑摩書房 , 2001.12 スミス、マルクス、ケインズ、シュンペーターと続く経済学の巨人たち。彼らが遺した経済思想とは、どんなものだったのだろうか。	331.23-H51n
	アダム・スミス : 『道徳感情論』と『国富論』の世界 / 堂目卓生著 中央公論新社 , 2008.3 『道徳感情論』の人間観と社会観を通して『国富論』を読み直し、格差と貧困の時代に「見えざる手」の真意を問い直す。	C-331.42-D.Yd
	アダム・スミス / ガヴィン・ケネディ著 ; 小谷野俊夫訳 一灯舎 , 2014.2 「見えざる手」の理論家、「自由放任主義」や「自由貿易」の主唱者という見方は一面的であり、スミスをより正確にみるよう忠告。	331.42-Ykb
	アダム・スミスとその時代 / ニコラス・フィリップソン著 ; 永井大輔訳 白水社 , 2014.7 誘拐された幼少期から、母との閉じた日々、ヒュームの友情、執拗な隠匿癖まで、経済学の祖の全体像を初めて示した評伝。	331.42-Yp
	マックス・ウェーバーを読む / 仲正昌樹著 講談社 , 2014.8 学問の「国家資本主義化」に疑問を呈し、進歩と脱呪術化を掲げ、学者の姿勢を問い質した。時代を超えて影響を与える思考。	331.5-W51Yne
	『資本論』の新しい読み方 : 21世紀のマルクス入門 / ミヒャエル・ハインリッヒ著 ; 明石英人 [ほか] 訳 堀之内出版 , 2014.4 ドイツ・マルクス研究の最前線の研究者による新しい解釈。その分かりやすさなどから、ドイツでもっとも読まれている入門書。	331.6-Ma59sYhc
	ビギナーズ『資本論』 / マイケル・ウェイン著 ; チェ・スンギョン画 ; 長谷澤訳 筑摩書房 , 2014.1 高度に抽象的な内容を、わかりやすく、深く解説した『資本論』入門書。現代の事例を取り上げつつ、理論を丁寧に解明する。	331.6-Ma59sYw
	経済ジェノサイド : フリードマンと世界経済の半世紀 / 中山智香子著 平凡社 , 2013.1 フリードマンの「ショック療法」がイデオロギー化する過程を分析し、新自由主義が世界経済を席巻した50年を総括する。	331.7-F47Yn
	資本主義の革命家ケインズ / ロジャー・E.バックハウス, ブラッドリー・W.ベイトマン著 ; 栗林寛幸訳 作品社 , 2014.8 なぜケインズは資本主義を救い、世界経済に革新をもたらしたのか？今、再び注目を浴びるケインズ経済学を知るための書。	331.74-Ke67Ybc
	ケインズとハイエク : 貨幣と市場への問い / 松原隆一郎著 講談社 , 2011.12 資本主義に社会主義的計画経済を導入したケインズ、自由主義経済の擁護者ハイエク。両者の思想を再び比較検証する。	331.74-Ke67Ym
	ケインズとハイエク : 「自由」の変容 / 間宮陽介著 筑摩書房 , 2006.11 計画経済の提唱者と自由主義経済の旗手、進歩主義者と保守主義者として対照的に語られる二巨匠。その思想を考察する。	331.74-Ke67Ymb
	ケインズはこう言った : 迷走日本を古典で斬る / 高橋伸彰著 NHK出版 , 2012.8 『貨幣論』『一般理論』などの主著を平易に解説し、雇用問題からデフレまでのさまざまな危機にどう対処するかを論じる。	331.74-Ke67Ytd
	ケインズかハイエクか : 資本主義を動かした世紀の対決 / ニコラス・ワプショット著 ; 久保恵美子訳 新潮社 , 2012.11 「大きな政府」か、「小さな政府」か。不況からの回復策をめぐり、二人の天才経済学者は、なぜ真っ向から衝突したのか。	331.74-Ke67Yw

社会学　教育　人類学	**マクルーハン：生誕100年、メディア(論)の可能性を問う** 河出書房新社 , 2011.2 ニューメディアが世界を次々に変革していくなかで、メディア論の父＝マーシャル・マクルーハン生誕100年を記念した特集。	361.28-Ma21md
	大学教育について / J.S.ミル著 ; 竹内一誠訳 岩波書店 , 2011.7 大学とは職業教育の場ではない。一般教養科目についての意義を述べ、真理に基づいて正しく行動する意志の涵養を説く。	B-377.04-Mi27d
	柳田国男と今和次郎：災害に向き合う民俗学 / 畑中章宏著 平凡社 , 2011.11 地震から津波、大火、飢饉まで…。災害から生まれた思想は、どう受け継がれてきたか。知られざる民俗学の淵源をたどる。	380.1-Y53Yhc
	レヴィ=ストロース / カトリーヌ・クレマン著 ; 塚本昌則訳 白水社 , 2014.5 文化人類学にフィールドワーク革命をもたらしたレヴィ=ストロースの生涯と思想を、40年の親交があった著者が解説する。	Q-389-L57Yc
	闘うレヴィ=ストロース / 渡辺公三著 平凡社新書 , 2009.11 百年を超える生涯を通じて、彼は何と闘ってきたのか。闘う知識人としての姿を追うことで、思想家の仕事の核心に肉薄する。	389-L57Yw
自然科学	**理系の扉を開いた日本の女性たち：ゆかりの地を訪ねて / 西條敏美著** 新泉社 , 2009.6 100年前には女性は大学に行くことも、理系の職業に就くことも許されなかった。その扉を開いた女性たちのゆかりの地を訪ねる。	402.8-Sa19r
	アインシュタイン：その生涯と宇宙 / ウォルター・アイザックソン著 ; 関宗蔵, 松田卓也, 松浦俊輔訳 武田ランダムハウスジャパン , 2011.6 20世紀最大の天才と言われるアインシュタイン。彼の独創性は一体どのようにして生まれたのか…上下2巻組。	421.2-E39Yib-1,2
	3分でわかるホーキング / ポール・パーソンズ, ゲイル・ディクソン著 エクスナレッジ , 2013.3 難解と思われているブラックホールや宇宙誕生、時の終わり等、ホーキングの研究を1トピック3分でわかり易く解説する。	443.9-H45Yp
	種の起源 /ダーウィン著 ; 渡辺政隆訳 光文社 , 2009.9 進化学は生物学の根幹であり、そのルーツは『種の起源』初版にある。歴史的な書を、画期的に分かりやすい新訳で贈る。	467.5-D42s.w
	ダーウィンの思想：人間と動物のあいだ / 内井惣七著 岩波書店 , 2009.8 ダーウィンはいかにして生物学から神を追放し、人間と動物をつないだのか。『種の起源』と『人間の由来』に至る道筋をたどる。	S-467.5-D42Yu
	原田正純の遺言：対話集 / [原田正純ほか述] ; 朝日新聞西部本社編 岩波書店 , 2013.5 水俣病をはじめ、人の命や尊厳を脅かす産業社会の負の面に医師として、半世紀以上、対峙した原田正純氏の対話集。	493.152-H321
	フランクル『夜と霧』への旅 / 河原理子著 平凡社 , 2012.11 一心理学者の強制収容所体験の記録『夜と霧』は、日本でなぜ読み継がれ、大震災後、さらに読まれているのか。	493.7-F44yYk
公害　建築学　農業	**沈黙の春 / レイチェル・カーソン著 ; 青樹築一訳** 新潮社 , 2001.6 自然破壊、人間の生命の核、遺伝子直撃へと環境問題が深刻化している今日、その危機を50年前に指摘し、出版された名著。	519-C22c
	原点としての水俣病 / 宇井純著 ; 藤林泰, 宮内泰介, 友澤悠季編 新泉社 , 2014.7 一技術者として水俣病の発生に衝撃を受け、原因究明と患者救済運動に奔走。東大自主講座「公害原論」を主宰する。	519-U56A6-1
	公害に第三者はない / 宇井純著 ; 藤林泰, 宮内泰介, 友澤悠季編 新泉社 , 2014.7 「第三者を名乗るものは必ずといってよいほど加害者の代弁をしてきた」。いまも公害を生み出し続ける日本社会の歪みを問う。	519-U56A6-2
	加害者からの出発 / 宇井純著 ; 藤林泰, 宮内泰介, 友澤悠季編 新泉社 , 2014.7 「公害問題というのはだいたい専門の隙間から出てくる」。技術者としての悔恨を記し、ゆるやかな適正技術のありようを提言する。	519-U56A6-3
	ガウディの伝言 / 外尾悦郎著 光文社 , 2006.7 建築や彫刻などの造形だけでなく、光や音も組み合わせた総合芸術。それがガウディの構想していたサグラダ・ファミリアだ。	520.28-G27sb
	ガウディ伝：「時代の意志」を読む / 田澤耕著 中央公論新社 , 2011.7 ガウディが活躍した十九世紀のバルセロナとはどんな都市だったのか。知られざる作品も紹介し、同時代史の中に位置づける。	C-520.28-G27t
	丹下健三：伝統と創造：瀬戸内から世界へ 美術出版社 , 2013.8 建築家・丹下健三の生誕100年を記念して、故郷瀬戸内で開かれた回顧展の公式カタログ。著名人の寄稿文や貴重な資料満載。	520.28-Ta86t
	もっと知りたいガウディ：生涯と作品 / 入江正之著 東京美術 , 2014.7 スペイン・バルセロナのガウディの建築群は、その独創性により、世界遺産に登録されている。ガウディの全貌がわかる入門書。	523.36-G27Yic
	井上ひさしと考える日本の農業 / 井上ひさし著 ; 山下惣一編 家の光協会 , 2013.7 TPPで大きく揺れる日本の農業や食。私たちにとって何が大切なのか。日本の農や食、TPPを考えるため絶好の書。	612.1-I571i

芸術　美術　絵画

ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」はなぜ傑作か? : 聖書の物語と美術 / 高階秀爾著 小学館 , 2014.8　702.099-Ta54d
ヨーロッパ美術史の中で、聖書がどのように描かれてきたのかを読み解き、数多くの美麗な図版とともに、わかりやすく解説。

レオナルド・ダ・ヴィンチ論 / ポール・ヴァレリー著 ; 塚本昌則訳 筑摩書房 , 2013.9　702.37-L55Yvb.t
レオナルドのデッサンと文章に見られるダイナミックな精神運動、科学と芸術をめぐる認識の極限、創造の謎について解明する。

ミケランジェロ / 木下長宏著 中央公論新社 , 2013.9　C-702.37-Mi13Yk
ルネサンスの巨匠ミケランジェロ。波瀾の生涯をたどり、作品に秘められたカオスを生きる力を見出し、躍動する人間像を描く。

写楽の深層 / 秋田巌著 NHK出版 , 2014.2　721.8-To72Yak
「本書では、写楽の『正体探し』は一切しない。彼が『何を』為したのかを明らかにしようとする」(*はじめに*より)

印象派はこうして世界を征服した / フィリップ・フック著 ; 中山ゆかり訳 白水社 , 2009.7　723.015-H85i
なぜモネやルノワールは世界中で好まれるのか。なぜ富裕層は印象派絵画を所有するのか。競売人が明かす美術史の舞台裏。

マネと印象派の巨匠たち : 印象派ってナニ? / 島田紀夫監修 小学館 , 2014.7　723.015-Ma43
マネ、モネ、ルノワール、ドガ、スーラ、ゴッホ、セザンヌ、ゴーギャンなど、印象派とその周辺の巨匠たちを、代表作とともに紹介。

印象派で「近代」を読む : 光のモネから、ゴッホの闇へ / 中野京子著 NHK出版 , 2011.6　723.015-N39i
マネ、モネ、ドガ、ゴッホまで、印象派の革命家たちが描いた近代とは、未だ克服せざる「貧富差」による"闇"であった。

印象派の挑戦 : モネ、ルノワール、ドガたちの友情と闘い / 島田紀夫著 小学館 , 2009.11　723.015-Sh36i
19世紀後半のパリを舞台に、モネ、ルノワール、ドガ、シスレー、モリゾら、若き無名の画家達が、新しい芸術を生み出していった。

イラストで読む印象派の画家たち / 杉全美帆子著 河出書房新社 , 2013.12　723.015-Su37i
モネ、マネ、ルノワール、セザンヌ、シスレー、ピサロ、モリゾ、ドガ、ゴッホ、ゴーギャン、スーラなど、エピソードと作品が満載。

印象派の誕生 : マネとモネ / 吉川節子著 中央公論新社 , 2010.4　C-723.015-Y89i
西洋の美意識は、マネやモネの登場によって、決定的な変化を迎える。印象派誕生に焦点をあて、その革新性に迫っていく。

もっと知りたい岡本太郎 : 生涯と作品 / 佐々木秀憲著 東京美術 , 2013.7　723.1-O42Ysd
岡本太郎とは何者か。活動分野は多岐にわたり、交友範囲も広く、多面体だ。その全貌を紹介し、人間性の魅力に迫る。

グスタフ・クリムト : 女たちを描いた画家 / ズザンナ・パルチュ解説 岩波書店 , 2009.9　723.346-KL6Ypb
官能的な女性の姿を多く描いたクリムトが関わった女たちとの関係を辿りつつ、クリムトの「女性観」を作品から読み解く。

評伝バルテュス / クロード・ロワ著 ; 與謝野文子訳 河出書房新社 , 2014.4　723.35-B16b.a
20世紀の偉大な画家の一人、バルテュス。彼と50年来の友人が描く画家の生涯。バルテュスが生前に認めた唯一の評伝。

「農民画家」ミレーの真実 / 井出洋一郎著 NHK出版 , 2014.2　723.35-Mi27Yi
同時代の画壇を震撼させた革新性、農民画に留まらない多様性を明らかにしながら、「清貧の農民画家」の真の姿に迫る。

ピサロ : 永遠の印象派 / クレール・デュラン=リュエル・スノレール著 ; 遠藤ゆかり訳 創元社 , 2014.8　723.35-P68Ys
8回の印象派展のすべてに唯一参加。若手画家との交流も盛んに行い、新印象派の作品を熱心に制作した巨匠の軌跡。

ジョルジュ・スーラ : 点描のモデルニテ / 坂上桂子著 星雲社 (発売) , 2014.6　723.35-Se95Ys
点描の現代性とは何か？ジョルジュ・スーラが創始した点描に20世紀アートへの転換点と現代社会の反映を見出す。

もっと知りたいゴッホ : 生涯と作品 / 圀府寺司著 東京美術 , 2007.12　723.359-G57Ykk
「炎の人」「耳切り事件」「狂気」「天才」「自殺」…。その波瀾にみちた生涯と、傑作の数々を、弟テオへの手紙とともにたどる。

ファン・ゴッホ : 自然と宗教の闘争 / 圀府寺司著 小学館 , 2009.3　723.359-G57YkL
教会、太陽、ひまわり、浮世絵、掘る人…。繰り返し登場するモティーフから、その生涯は「キリスト教対自然」の葛藤であった。

ゴッホのひまわり全点謎解きの旅 / 朽木ゆり子著 集英社 , 2014.3　723.359-G57Ykn
"ひまわり"十一作品には、それぞれ多くの謎が存在する。最新の科学的・歴史的知見に基づき、ひまわり全点の謎を解く。

レンブラント : 光と影のリアリティ / 熊澤弘 [著] 角川書店 , 2011.2　723.359-R26Ykd
「レンブラント絵画の魅力と、その波乱の人生をたどる」(*カバー*より)

フェルメール光の王国 / 福岡伸一著 木楽舎 , 2011.8　723.359-V62Yfb
フェルメールの描いた"光のつぶだち"が導く大胆な仮説とは？生物学者・福岡伸一がおくる極上の美術ミステリー紀行。

フェルメール静けさの謎を解く / 藤田令伊著 集英社 , 2011.12　723.359-V62Yfc
色彩や構図、モチーフ、光などへの考察をはじめ、17世紀オランダの時代背景や精神文化を分析し、静けさの謎に迫る。

フェルメール全点踏破の旅 / 朽木ゆり子著 集英社 , 2006.9　723.359-V62Yke
フェルメールは、贋作騒動、盗難劇、ナチスの略奪など、知的好奇心をそそる背景を持つ。全点踏破の野望を抱いて旅に出る。

絵画 漫画

僕はダリ / キャサリン・イングラム文 ; アンドリュー・レイ絵 ; 小俣鐘子訳 パイインターナショナル , 2014.6 — 723.36-D32Yi

世界で最も人気のある芸術家のひとりで、奇抜な芸術作品を次々と発表したダリの幼少期から晩年までを、作品とともに紹介。

ゲルニカ : ピカソが描いた不安と予感 / 宮下誠著 光文社 , 2008.1 — 723.36-P59Ymd

西洋美術を代表する『ゲルニカ』。製作過程を追いながら、美術史、歴史画、戦争画の観点から、ピカソが直感した予感に迫る。

ムンクの世界 / 新人物往来社編 新人物往来社 , 2012.11 — 723.3889-Mu32Ymc

不安、恐怖、叫び、そして希望。圧倒的な収録作品数で、ムンクの作品世界の全貌に迫る究極の一冊。

僕はポロック / キャサリン・イングラム文 ; ピーター・アークル絵 ; 木村高子訳 パイインターナショナル , 2014.6 — 723.53-P77Yi

優雅な動きとともに、絵具のしたたる繊細な絵画を描いた芸術家、ポロックの幼少期から晩年までを、作品とともに紹介する。

僕はウォーホル / キャサリン・イングラム文 ; アンドリュー・レイ絵 ; 安納令奈訳 パイインターナショナル , 2014.6 — 723.53-W38Yi

商業アートの世界で大きな成功を収めたアンディ・ウォーホルの幼少期から晩年までを、作品とともに紹介する。

はだしのゲン : わたしの遺書 / 中沢啓治著 朝日学生新聞社 , 2012.12 — 726.1-N46h

原爆で父、姉、弟、妹を亡くし、母とともに再出発した中沢少年。戦争責任と原爆の問題に向き合った漫画家の不屈の人生。

アンパンマンの遺書 / やなせたかし著 岩波書店 , 2013.12 — 726.1-Y56a

手塚治虫、永六輔、いずみたく、宮城まり子ら、多彩な人びととの交流を横糸に、自身の風変わりな人生を語る。

何のために生まれてきたの? : 希望のありか / やなせたかし著 PHP研究所 , 2013.2 — 726.1-Y56n

絶望の隣にはきっと希望がある。「アンパンマン」の生みの親である氏の前向きな生き方、人生哲学は周囲に元気をおくる。

やなせたかしみんなの夢まもるため / やなせたかし [ほか] 著 NHK出版 , 2014.6 — 726.1-Y56Yyb

94歳で亡くなった本人の言葉と、やなせさんを慕った漫画家たちの声、遺された詩とイラストで紡ぐ、珠玉のメッセージ!

山下清と昭和の美術 : 「裸の大将」の神話を超えて / 服部正, 藤原貞朗著 名古屋大学出版会 , 2014.2 — 726.9-Y44Yh

芸術の世界にも福祉の世界にも落ち着く場所のなかった彼の存在を通して、昭和の美術と福祉と文化の歴史を問い直す。

写真

ロバート・キャパ / ベルナール・ルブラン, ミシェル・ルフェーブル著 ; 太田佐絵子訳 原書房 , 2012.9 — 740.253-C16YL

2007年に発見されたメキシカンスーツケースにあった未発表の膨大な資料をもとに描かれたキャパの複雑で波乱に富んだ生涯。

キャパの十字架 / 沢木耕太郎著 文藝春秋 , 2013.2 — 740.253-C16Ys

スペイン戦争で撮影した戦争写真の最高峰「崩れ落ちる兵士」には、多くの謎、キャパと恋人ゲルダとの隠された物語があった。

キャパその青春 / リチャード・ウィーラン著 ; 沢木耕太郎訳 文藝春秋 , 2004.3 — 740.253-C16Yw-1

「崩れ落ちる兵士」一枚の写真が戦争の真実を伝えた。報道写真家キャパは、この一枚で世界にその名を知られ伝説となった。

キャパその戦い / リチャード・ウィーラン著 ; 沢木耕太郎訳 文藝春秋 , 2004.4 — 740.253-C16Yw-2

戦争写真家キャパは、スペイン、中国、北アフリカ、シチリア島、イタリアの最前線で奮闘し、作家のヘミングウェイと出会う。

キャパその死 / リチャード・ウィーラン著 ; 沢木耕太郎訳 文藝春秋 , 2004.5 — 740.253-C16Yw-3

1944年6月6日、ノルマンディー上陸作戦に従軍したキャパは一番乗りを果たし、戦争写真家の声望をさらに高める…。

音楽

おわらない音楽 / 小沢征爾著 日本経済新聞出版社 , 2014.7 — 762.1-O97Yoe

日経新聞「私の履歴書」の連載記事の書籍化。大病を乗越えてなお精力的に活動する筆者が過去を振返り、未来を見つめる。

武満徹自らを語る / 武満徹著 ; 安芸光男聞き手 青土社 , 2010.1 — 762.1-Ta63Ytc

還暦を機に行われた長時間インタビューの録音が19年ぶりに発見された。「世界のタケミツ」の音楽を知る言葉が今、蘇る。

「音楽の捧げもの」が生まれた晩 : バッハとフリードリヒ大王 / ジェイムズ・R・ゲインズ著 ; 松村哲哉訳 白水社 , 2014.6 — 762.34-B13Ygc

表題の名曲が誕生することとなった二人の出会いの日をクライマックスに、出会いに至るまでの二人の対照的な人生を描く。

バッハの秘密 / 淡野弓子著 平凡社 , 2013.3 — 762.34-B13Ytd

バッハの声楽作品を取り上げ、その音楽の象徴的意味、隠された手法、数の秘術など、バッハの音楽を深く味わうための一冊。

ベートーヴェンの生涯 / 青木やよひ著 平凡社 , 2009.12 — 762.34-B32Yah

彼は、バッハ、ヘンデル、モーツァルトの音楽とどのように出会い、カントの哲学やインド思想をいかに自らのものとしたのか。

ブラームス : 生涯と芸術 / カール・ガイリンガー著 ; 山根銀二訳 芸術現代社 , 1997.4 — 762.34-B71Ygc

「この書はブラームスの内面的な心の生活を、まことに見事にえぐりとっている。」(*訳者の言葉*より)

モーツァルトとナチス : 第三帝国による芸術の歪曲 / エリック・リーヴィー著 ; 高橋宣也 白水社 , 2012.12 — 762.34-L57m

モーツァルトの作品を、ナチスはいかに政治的に利用したか。文化の歪曲の実態とユダヤ系音楽家・学者たちの苦闘を検証。

音楽

メンデルスゾーン：知られざる生涯と作品の秘密 / レミ・ジャコブ著；作田清訳 作品社，2014.6 762.34-Me43Yj
生誕200年を機に、欧州でブームを巻き起こしている天才作曲家の未訳の名著、待望の初訳、図版・楽譜など多数収録。

マーラーの交響曲 / 金聖響，玉木正之著 講談社，2011.12 762.346-Ma29Ykd
壮大なスケールや声楽パートを多用したことで有名な後期ロマン派の巨星マーラー。未完の遺作も含めた全交響曲を解説。

ベートーヴェンの交響曲 / 金聖響，玉木正之著 講談社，2007.11 764.31-B32Yk
ベートーヴェンが深く楽しく聴ける面白いガイド。第一番にして革命的、五番は完全無欠の構造物、八番4楽章のドライブ感…。

ギャンブラー・モーツァルト：「遊びの世紀」に生きた天才 / ギュンター・バウアー著；吉田耕太郎，小石かつら訳 春秋社，2013.7 762.346-Mo98Ybd
残された手紙や史料から、モーツァルトが生涯にわたり熱中した「遊び」に焦点を当て、人間モーツァルトの全体像に迫る。

ヴェルディ：オペラ変革者の素顔と作品 / 加藤浩子著 平凡社，2013.5 762.37-V61Ykc
作品が最も多く上演されている、オペラの巨人ヴェルディ。生誕200年を迎えた彼の人物像と、全オペラ作品の魅力を紹介。

プロコフィエフ：その作品と生涯 / サフキーナ著；広瀬信雄訳 新読書社，1995.9 762.38-P94Ys
「プロコフィエフの音楽は私たちの目には常にクラシックであるのだが、びっくりするほど現代的である」（*読者*により）

全曲解明!!ビートルズサウンズ大研究 / チャック近藤著 ブルース・インターアクションズ，2009.9 764.7-B31Yc
ビートルズが自らのサウンドに込めた意図を、1曲ずつ全213曲を分析・解明。今まで聴こえなかった音が聴こえてくるはず。

ザ・ビートルズ・サウンド：最後の真実 / ジェフ・エメリック，ハワード・マッセイ著；奥田祐士訳 白夜書房，2006.12 764.7-B31Ye
1966年『リボルバー』から1970年『アビイ・ロード』まで、録音現場にいたエンジニア、ジェフ・エメリックが語る未公開エピソード。

ビートルズを歩こう!：ロンドンゆかりの地究極ガイド / マーク・ルイソン，ピート・シュローダーズ，アダム・スミス著；ザ・ビートルズ・クラブ編集室編；大沢章子，ザ・ビートルズ・クラブ翻訳室訳 プロデュース・センター出版局，2009.9 764.7-B31YL
スタジオ、ライブ会場、レストランなど、ビートルズがその活動期間中に訪れた場所をとことん調べ上げた究極のガイド。

ビートルズは音楽を超える / 武藤浩史著 平凡社，2013.7 764.7-B31Ym
階級横断的な概念「ミドルブラウ」をキーワードに、彼らの言葉・歌詞を丹念にたどり、音楽を超えた歴史的意義を論じる文化史。

ジョン・レノンレターズ / [ジョン・レノン著]；ハンター・デイヴィス編著；秋山淑子，中村圭志訳 角川グループホールディングス（発売），2013.4 764.7-L54Ydb
家族、友人、新聞社、弁護士、クリーニング店から女王陛下にまで送った285通の手紙。彼の想いを封じ込んだ、貴重な書簡。

永遠のジョン・レノン：愛と平和と音楽に賭けた男 / 巻口勇次著 三修社，2008.11 764.7-L54Ym
魂の赴くままに自らのすべてをさらけ出して懸命に生き抜いていった天才ジョンの姿。

「蛍の光」と稲垣千頴：国民的唱歌と作詞者の数奇な運命 / 中西光雄著 ぎょうせい，2012.2 767.7-I52Yn
日本人なら誰でもが知っている「蛍の光」というなじみ深い歌の作詞者が、誰だかご存じですか。謎多き人物の数奇な運命。

Michael Jackson,Inc.：マイケル・ジャクソン帝国の栄光と転落、そして復活へ / ザック・オマリー・グリーンバーグ著；高崎拓哉，堂田和美，富原まさ江訳 阪急コミュニケーションズ，2014.6 767.8-J111Yg
今なお、富を生み続ける巨大ビジネスとしてのキング・オブ・ポップ、マイケル。実業家としての才覚と成功の舞台裏を描く。

マイケル・ジャクソン / 西寺郷太著 講談社，2010.3 767.8-J111Ynb
ジャクソン家の人間関係、絶頂期の混乱と孤独、どん底に突き落とした少年虐待疑惑の真相、「THIS IS IT」での大復活まで。

演劇

観阿弥と世阿弥 / 戸井田道三著 岩波書店，1994.11 773.8-Ka57Yt
「能を大成させたといわれている観阿弥・世阿弥から、何を学び、現代に生かすことができるだろうか」（*はじめに*より）

映画

チャップリン暗殺：5.15事件で誰よりも狙われた男 / 大野裕之著 メディアファクトリー，2007.11 778.233-C33Yo
5.15事件(1932年)の第一の目的は、世界的大スターであるアメリカ人・チャップリンを殺して日米を開戦させることだった…。

回想黒澤明 / 黒澤和子著 中央公論新社，2004.8 C-778.21-Ku76Yk
世界の巨匠の素顔を家族が描く。「信頼する」「反抗する」「想像する」など、黒沢明の哲学が、肉声とともに伝わる24話。

「東京物語」と小津安二郎：なぜ世界はベスト1に選んだのか / 梶村啓二著 平凡社，2013.12 778.21-O99tYk
2012年、世界の映画監督が選ぶ歴代映画ベスト1に「東京物語」が選ばれた。世界の人々の心を揺さぶる映画の秘密に挑む。

チャップリン / デイヴィッド・ロビンソン著；宮本高晴，高田恵子訳 文藝春秋，1993.4 778.233-C33Yr-1,2
ロンドンの屋根裏部屋で精神を病んだ母と過ごした幼い日々から、映画界の頂点へ。膨大な資料をもとに描く喜劇王の半生。

Audrey：オードリー・ヘップバーン60年代の映画とファッション / デイヴィッド・ウィルズ著；黒川由美訳 東京書籍，2013.7 778.253-H521Ywc
最高品質の写真と著名人らによるオードリーへのオマージュで鮮やかによみがえる、スクリーンの妖精。初収録の写真多数。

映画	**映画術：定本 / ヒッチコック,トリュフォー[著]；山田宏一,蓮実重彦訳** 晶文社，1990.12 ヒッチコックの処女作から最後の作品まで、華麗なテクニックとその映画人生のすべてを、520枚の写真を駆使して大公開。	778.253-H77e2
	ヒッチコックに進路を取れ / 山田宏一，和田誠著 草思社，2009.8 スリル、サスペンス、ホラーの古典、ヒッチコック映画の秘密を二人が語り尽くす。映画・ミステリー・ファン必読の案内書。	778.253-H77Yy
日本文学	**作家太宰治の誕生：「天皇」「帝大」からの開放 / 斉藤利彦著** 岩波書店，2014.2 「従来にない視点から読み解く、作家として生きる道を見出すまでの太宰治の半生」（*カバー*より）	910.268-D49so
	小林多喜二：21世紀にどう読むか / ノーマ・フィールド著 岩波書店，2009.1 絵画も音楽も映画も愛し、ひたむきな恋に生き、反戦と社会変革をめざして拷問死に至った軌跡。知られざる人間像に迫る。	S-910.268-Ko12k
	三島由紀夫 / ジェニフェール・ルシュール著；鈴木雅生訳 祥伝社，2012.11 新たな理解と解釈をもたらす、外国人の目を通した三島像。全体像をニュートラルな形で提示する、三島研究の格好の入門書。	910.268-Mi53L
	デクノボー宮沢賢治の叫び / 山折哲雄，吉田司著 朝日新聞出版，2010.8 「書いて歌って、そして祈ったニート文学…それが賢治童話の世界だったのではないか」（*おわりに*より）	910.268-Mi89yp
	森鷗外：日本はまだ普請中だ / 小堀桂一郎著 ミネルヴァ書房，2013.1 陸軍軍医として、軍陣衛生学の実地に携る傍、詩人・作家・批評家として当代の文学界に指導的役割を演じた森鷗外の評伝。	910.268-Mo45kw
	宮澤賢治とディープエコロジー：見えないもののリアリズム / グレゴリー・ガリー著；佐復秀樹訳 平凡社，2014.9 その童話に、同時代の最先端の科学と共有したリアリズムの信念を確認しディープ・エコロジーとの思想的連関を描き出す。	910.268-Mi89gd
	夏目漱石と戦争 / 水川隆夫著 平凡社，2010.6 国家主義の囚われをどのように克服し、戦争の悲惨さへの、独自の認識を深めたのか？漱石の、戦争との闘いの軌跡を追う。	910.268-N58mt
	谷川雁：永久工作者の言霊 / 松本輝夫著 平凡社，2014.5 60年代前半、若者や知識人に多大な影響を与えた谷川雁。思想家や詩人といった枠に収まりきらない彼の思想と生涯を描く。	910.268-Ta87mb
	紫式部 / 植田恭代著 笠間書院，2012.6 『源氏物語』とは別の角度から紫式部の心に寄りそい、式部の人物・生活・思考を知る好資料。	911.102-C84-44
	与謝野晶子 / 松村由利子著 中央公論新社，2009.2 教育や労働について鋭く論評し、多くの子を産み育てた「ワーキングマザー」でもあった、ひとりの等身大の女性像を描きだす。	911.162-Y851mb
	金子みすゞ再発見　新しい詩人像を求めて / 堀切実著 勉誠出版，2014,6 「読み継がれ、読み替えられることで作品は成長し、やがて古典と呼ばれるようになる」。みすゞの詩の再発見を試みる書。	911.52-Ka531h
	中原中也の鎌倉 / 福島泰樹著 冬花社，2014.6 中原中也を、青春のノスタルジーだけで読んではいけない。鎌倉で30歳の生涯を閉じた中原にとって、鎌倉はいかなる地か。	911.52-N33fd
	井上ひさし短編中編小説集成 / 井上ひさし著 岩波書店，2014.10- ユーモアと風刺の効いた初期の名作『ブンとフン』、続編「フン先生の初恋」など、井上小説の原点というべき作品群を収める。	913.6-I573A-1
	蟹工船；一九二八・三・一五 / 小林多喜二作 岩波書店，2003.6 おい地獄さえぐんだで。函館を出港する漁夫の方言に始まるプロレタリア文学の古典。搾取と労働、組織と個人を描く。	B-913.6-Ko12k2
中国文学	**魯迅：東アジアを生きる文学 / 藤井省三著** 岩波書店，2011.3 近代的都市生活者として魯迅を描き、その作品が東アジア共通のモダンクラシックとして受容されてきたことを明らかにする。	S-920.28-R51f
	杜甫のユーモアずっこけ孔子 / 興膳宏著 岩波書店，2014.3 杜甫・孔子などの中国古典、その落語訳、ことばの問題、日中交流史、近代日本文学など多彩なテーマの随筆・講演を収録。	920.4-Ko98t
	故郷；阿Q正伝 / 魯迅著；藤井省三訳 光文社，2009.4 定職も学もない男が、革命の噂に憧れを抱いた顛末を描く『阿Q正伝』他、文学で革命を起こした魯迅の代表作16篇。	923.7-R51k
英米文学	**ブラッドベリ、自作を語る / レイ・ブラッドベリ，サム・ウェラー著；小川高義訳** 晶文社，2012.6 SFを文学の領域にまで高めた巨匠ブラッドベリ。「華氏451度」「火星年代記」「たんぽぽのお酒」など、型破りな創作に迫る。	930.28-B712b
	ルイス・キャロルハンドブック：アリスの不思議な世界 / 安井泉編著 七つ森書館，2013.7 数学者、写真家など、さまざまな顔をもった生涯と作品世界の秘密を読み解く。原書挿画や肖像写真など、図版80点を収録。	930.28-C225y
	サリンジャー：生涯91年の真実 / ケネス・スラウェンスキー著；田中啓史訳 晶文社，2013.8 出生秘話、家族、戦争体験、失恋、結婚、創作活動、編集者との確執…。謎に包まれた私生活や新事実がいま明らかに。	930.28-Sa53sd
	シェイクスピア：言語・欲望・貨幣 / テリー・イーグルトン著；大橋洋一訳 平凡社，2013.1 刺激的な読解により、第一級の思想家として、シェイクスピアが現代に甦る。言語と欲望と法と貨幣と肉体の相互関係を論じる。	930.28-Sh12e.a
	オスカー・ワイルド：「犯罪者」にして芸術家 / 宮崎かすみ著 中央公論新社，2013.11 『幸福な王子』『ドリアン・グレイの画像』などで知られる世紀末芸術の旗手オスカー・ワイルド。起伏と魅力に富んだ生涯を描く。	C-930.28-W73m

英米文学

華氏451度 / レイ・ブラッドベリ著 : 伊藤典夫訳 早川書房 , 2014.6 933-B716kb
本が忌むべき禁制品となった未来を舞台に、SF界きっての抒情詩人が現代文明を鋭く風刺した不朽の名作、新訳で登場。

女教皇ヨハンナ / ドナ・W・クロス著 ; 阪田由美子訳 草思社 , 2005.10 933-C934o.s-1,2
「カトリック教会の公式記録から抹消され、伝承としてのみ語られてきた男装の女教皇」(*カバー*より)

アンドロイドは電気羊の夢を見るか? / フィリップ・K・ディック著 ; 浅倉久志訳 早川書房 , 2011.6 933-D726a
放射能に汚染され廃墟と化した地球。危険を伴う労働はアンドロイドを用いる。リックは、アンドロイド狩りの仕事を引き受け…。

ユートピアだより / ウィリアム・モリス作 ; 川端康雄訳 岩波書店 , 2013.8 B-933-Mo78u.k
目覚めるとそこは22世紀のロンドン。緑輝き、水は澄み、仕事が喜びになっている暮らし。理想と希望が紡ぐユートピア物語。

波止場日記 : 労働と思索 / エリック・ホッファー [著] ; 田中淳訳 みすず書房 , 2014.9 935-H81h
知識人はなぜ大衆と対立するのか、選民思想はどこから生じるのか。沖仲士の哲学者による思索の結晶。解説・森達也

ドイツ文学

ゲーテ一日一言 / 木原武一著 海竜社 , 2009.7 940.28-G56kg
詩人で小説家、劇作家、そして科学者で政治家。人生の達人ゲーテが贈る366の言葉。積極的に生きるための一日一頁の英知。

ヘルマン・ヘッセ / フランツ・バウマー著 土曜美術社出版販売 , 2007.8 940.28-H53b
100ページ足らずの本書に、ヘッセの人間を愛するロマンチックな面と社会的リアリストの両面が客観的に描き出されている。

カフカと映画 / ペーター=アンドレ・アルト著 ; 瀬川裕司訳 白水社 , 2013.4 940.28-Ka15af
カフカの作品に応用された映画の手法。『城』と《吸血鬼ノスフェラトゥ》の共通点など、表現をめぐる刺激的な関係が明らかに。

カフカとの対話 : 手記と追想 / グスタフ・ヤノーホ [著] ; 吉田仙太郎訳 みすず書房 , 2012.11 940.28-Ka15j-M
青年は「ドクトル・カフカ」と出会い、慕い、語り合った。人間カフカの思想・声・姿を瑞々しく伝える貴重な書物。

カフカらしくないカフカ / 明星聖子著 慶応義塾大学出版会 , 2014.6 940.28-Ka15mh
フェリスとの恋は本当に恋だったのか。『判決』『変身』の秘密は、彼らの恋にある。スリリングな展開で描写する強いカフカ。

変身 / カフカ著 ; 池内紀訳 白水社 , 2006.3 943-Ka15h.i
主人公は、なぜ虫に変身したのか、作者は何ひとつ説明しない。ひたすら冷静に、虫になった男と家族の日常を描いていく。

変身 ; 掟の前で : 他2編 / カフカ著 ; 丘沢静也訳 光文社 , 2007.9 943-Ka15h.o
家族の物語を虫の視点で描いた「変身」など、カフカの傑作4編を、もっとも新しい"史的批判版"にもとづいた翻訳で贈る。

流刑地にて / フランツ・カフカ著 ; 池内紀訳 白水社 , 2006.7 943-Ka15r
流刑地で行なわれる、奇妙な機械を用いての死刑執行…。表題作のほか、『判決』『観察』『火夫』を収録。

マリー・アントワネット / シュテファン・ツワイク作 ; 高橋禎二, 秋山英夫訳 岩波書店 , 1980 B-943-Z9m-1,2
「マリー・アントワネットは、王党派の祭りあげた偉大な聖女でも、革命のとなえた娼婦でもなかった」(*はしがき*より)

フランス文学

生誕101年「カミュ」に学ぶ本当の正義 : 名作映画でたどるノーベル賞作家46年の生涯 / 石光勝著 新潮社 , 2014.7 950.28-C14i
カミュが終生こだわり続けた正義とは? 世界に衝撃を与えた『異邦人』とは? 全体主義を批判し続けたカミュの人生と思想を描く。

星の王子さまとサン=テグジュペリ : 空と人を愛した作家のすべて 河出書房新社 , 2013.4 950.28-Sa22h
世界3大ベストセラーの1冊『星の王子さま』と作家の全貌に迫る入門書。突出した個性を備えたその足跡を複数の執筆陣が辿る。

「星の王子さま」物語 / 稲垣直樹著 平凡社 , 2011.5 953-Sa22hYi
世界中で最も有名な物語について、従来の伝記的事実を洗い直し、最新の資料・研究をもとに新たな解釈を提示する。

誰が星の王子さまを殺したのか : モラル・ハラスメントの罠 / 安冨歩著 明石書店 , 2014.8 953-Sa22hYy
星の王子さまとバラとのこじれた恋愛関係に焦点をあて、ハラスメントの物語として読み直した、斬新な視点の『星の王子さま』論。

ロシア文学

チェーホフ自身によるチェーホフ / ソフィ・ラフィット著 ; 吉岡正敞訳 未知谷 , 2010.8 980.28-C37c
小説、戯曲、手紙、手帳から文章をふんだんに引用。チェーホフ自身が考えていたこと、感じていたこと、人生のすべてが蘇る。

ドストエフスキー : 共苦する力 / 亀山郁夫著 東京外国語大学出版会 , 2009.4 980.28-D88kq
『罪と罰』『白痴』『悪霊』『カラマーゾフの兄弟』の四大長編に隠されたメッセージを読み解きながら、現代人の救いを考える。

ドストエフスキー / ヴィリジル・タナズ著 ; 神田順子, ベリャコワ・エレーナ訳 祥伝社 , 2014.7 980.28-D88tj
作品執筆の背景にあるものとは。社会の危機、人間の危機を追究しつづけた作家の生涯を追いつつ、その謎を解く鍵を探る。

かもめ / チェーホフ著 ; 沼野充義訳 集英社 , 2012.8 982-C37k.n
19世紀末ロシアを舞台に描く、作家志望の男と女優志望の女の恋。人生の本質から目をそらさない、演劇史上不朽の名作。

桜の園 ; プロポーズ ; 熊 / チェーホフ著 ; 浦雅春訳 光文社 , 2012.11 982-C37s.u
桜の園に5年ぶりに当主ラネフスカヤ夫人が帰ってきた。彼女を喜び迎える屋敷の人々。しかし領地は競売にかけられることに。

ワーニャ伯父さん ; 三人姉妹 / チェーホフ著 ; 浦雅春訳 光文社 , 2009.7 982-C37v
棒に振った人生を後悔する「ワーニャ伯父さん」。次第に出口のない現実に追い込まれていく「三人姉妹」。傑作戯曲二編。

ロシア文学

チェーホフ短篇集：新訳 / チェーホフ著；沼野充義訳 集英社，2010.9	983-C37cb
”人間を描く天才”チェーホフの短篇13を、新しく訳した珠玉の作品集。個性豊かな登場人物が濃密なドラマを繰り広げる。	
チェーホフ短篇集 / アントン・チェーホフ著；松下裕編訳 筑摩書房，2009.8	983-C37cc
ユーモラスな思春期男女の性の芽ばえ、曲折にとむ恋愛や結婚生活に揺れる微妙な心理を描いた、魅力あふれる一冊選集。	
馬のような名字：チェーホフ傑作選 / チェーホフ著；浦雅春編訳 河出書房新社，2010.3	983-C37u
名作『かわいいひと』『いいなずけ』『ロスチャイルドのバイオリン』他、深刻かつナンセンスかつ笑いに満ちた傑作18編。	
サハリン島 / チェーホフ著；原卓也訳 中央公論新社，2009.7	985-C37s
1890年、30歳のチェーホフは、極東の流刑地サハリンに滞在し、綿密な記録を残した。村上春樹氏の『1Q84』で、話題に。	
痴愚神礼讃：ラテン語原典訳 / エラスムス著；沓掛良彦訳 中央公論新社，2014.1	992.4-E67c.k
ルネサンス期の社会、人びとを観察し、人間の愚行を完膚なきまでに嘲弄する。堕落する教界、腐敗を極める世俗権力…。	

獨協大学図書館 2014.11.10